学校番号	313

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	(学)音楽演習	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌唱」「器楽」「鑑賞」「ソルフェージュ」の４つの分野を年間通して学習します。
・学習の到達度は、授業で配布するワークシートや筆記試験、実技テストで評価します。
・音楽の学習は、実際にやってみてこそ価値あるものとなり、そうして感性が豊かになります。
・音楽Ⅰで学んだ内容を発展させて、音楽が生涯にわたって心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に着けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えたり、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴く力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組もうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 【知識】 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に着け、歌唱、器楽、創作で表している。 【技能】	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	器楽による表現力を身につけよう	【器楽】キーボード「ちょうちょ」	a:【技】楽曲から感じ取ったイメージを創造的に器楽表現するための技能を身に付けている。 b: 音楽を形づくっている要素が生み出す曲想や美しさを感じ取って器楽表現を工夫している。 c:楽器の特性や奏法、曲の構成に関心を持ち、主体的に取り組んでいる。	実技テスト	ワークシート 実技テスト	観察 ワークシート
	弾き語りに挑戦しよう	【歌唱・器楽・鑑賞】 糸	a:【知】音楽を形づくっている要素とそれらの働きが生み出す特質や雰囲気などを理解しながら、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。 【技】表現したいことを伝えるための歌唱・器楽の技能を身に付けている。 b: 音楽を形づくっている要素が生み出す曲想や美しさを感じ取って器楽表現を工夫している。 c: 歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている	実技テスト	ワークシート 実技テスト	観察 ワークシート
2学期	ハーモニーを味わおう	【歌唱】 合唱曲	a:【技】楽曲から感じ取ったイメージを創造的に歌唱表現するための技術を身に付けている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらが生み出す曲想や美しさを感じ取って表現を工夫している。 c:曲想にふさわしい発声、視唱、歌詞及び曲想に関心を持ち、主体的に歌唱表現し、その喜びを味わおうとしている。	観察	ワークシート	観察 ワークシート

	バンドアンサンブルに挑戦しよう	【合奏】 自由選択曲	a:【知】曲想や旋律、歌詞との関わりについて理解している。 【技】他者との調和を意識して演奏する技能を身に付けている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、その働きを感受しながらグループでイメージを共有して表現を工夫している。 c: アンサンブルに関心をもち、その持ち味を生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。	実技テスト	ワークシート 実技テスト	観察 ワークシート
3学期	グループアンサンブルに挑戦しよう	【合唱】 「心の瞳」	a:【知】曲想や旋律、歌詞との関わりについて理解している。 【技】他者との調和を意識して演奏する技能を身に付けている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、その働きを感受しながらグループでイメージを共有して表現を工夫している。 c: アンサンブルに関心をもち、その持ち味を生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。	実技テスト	ワークシート 観察	ワークシート 観察
1 2 3学期	音を聴く力をつけよう	【ソルフェージュ】 単音 旋律	a:【知】音の持つ要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら音楽に対する理解を深める 【技】音を正しく聴き取り、記譜することができる。 c: ピアノによる単音、旋律の音の特質に関心をもって聴音をする学習に主体的に取り組んでいる。	筆記テスト		観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度